



豊里

無事故願って折り鶴短冊配る

春の交通安全運動「豊里地区合同出発式」は4月6日、みやぎ登米農協豊里支店前で行われ、交通安全協会豊里支部や豊里町交通安全母の会など関係者50人が参加し、交通事故のない安全・安心なまちづくりを宣言しました。当日は、「短冊無事故作戦」と題し、手作りの折り鶴短冊に無事故の願いを込め、ドライバーに配付。「着ぐるみ作戦」では、サル・トラの2匹がドライバーたちに手を振り、交通安全順守をPRしました。

懐かしい友人との再会を誓う

在京の米山町出身者が組織する東京米山会（佐藤順二会長）の総会と懇親会は3月12日、東京都江東区アンフェリシオンで開かれ、約80人が出席し、親睦を深めました。総会には、本市から米山町域選出の市議会議員や関係者が出席。佐藤会長は「会員の高齢化などにより年々参加者が減少しているが、懐かしい仲間たちが集い語らえる場として、これからも継続して開催していきたい」と力強く宣言しました。



米山

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

愛着ある活動場所をきれいに

スポーツ少年団迫支部（阿部正一支部長）主催の「クリーンキャンペーン」は3月20日、迫地区で行われ、27団体の団員と保護者、指導者など450人が清掃活動に参加しました。同日は、非常に冷たい風が吹く中での作業。日頃活動している周辺のゴミなどを念入りに集めました。参加者は、愛着ある活動場所の清掃活動を通して、環境美化の大切さを再確認しました。



石越

恒例の堤防清掃を力合わせて

「夏川・迫川の堤防一斉清掃」（石越町河川愛護会主催）は3月12日、同河川敷で行われ、地域の環境美化に努めました。当日は、地域住民約千人が参加。参加者は、ごみの多さや雑草の状況に驚いていました。ゴミの撤去や草木の焼却作業を手際よく進め、清掃活動は約3時間で終了しました。見違えるほどきれいになった堤防に、参加者は満足した表情を浮かべていました。

趣向を凝らした加工品に関心

農産加工クラブ「作品展示会」は3月3日、とよま農産加工調理場で開かれ、登米町農産加工クラブ連絡協議会（主藤とよ子会長）が1年間の研究成果を発表しました。作品展示会は、みそ、漬物、ご飯、惣菜、菓子、手芸と手作り加工品112点を出展。来場者は加工品を試食しながら、作り方を興味深く聞いていました。主藤会長は「今後も会員との親睦を深めながら、加工技術をさらに磨き活動していきたい」と話していました。



登米

親子でなつかしの自然を体験

「親子教室&子ども農園」（東郷公民館主催）は3月11日、南方定住促進センター脇のオムラサキ飼育舎・メダカの池で開かれ、約40人の親子が参加しました。親子教室&子ども農園は、二ホンメダカを通じ環境に配慮した米作りに興味を持ってもらうことが目的。地元産の米で作ったおこわの試食やメダカなどについて勉強した後、成長を願いながらみんなの手でメダカを池に放流しました。



南方



東和

ブラジル日系作家、表敬訪問

ブラジル日系作家アカデミー訪問団9人（宮村秀光団長）は3月27日、本市を訪れました。訪問団は、ブラジルで作家として活躍している人たちが同アカデミーの設立に尽力したベストセラー作家千葉勇氏のルーツ東和町を訪問。市へ千葉氏著作の書籍を、訪問団には市と国際交流協会から記念品を贈呈しました。縁故者と懇談後、千葉氏両親の生家跡地を訪ね写真撮影するなど、往時をしのび有意義な時間を過ごしました。



津山

交通死亡事故ゼロ3千日達成

「交通死亡事故ゼロ3,000日達成表彰式」は3月6日、市役所迫庁舎で開かれ、市交通安全対策協議会と登米警察署から横山地区コミュニティ推進協議会（佐藤秀一会長）へ褒状が贈られました。また、この達成に併せ、登米警察署から津山地区（亀井陽逸津山区長会長）へ県警本部交通部の感謝状が伝達。佐藤会長は「地区住民一人一人に、さらなる安全運転を心掛けていただくよう働きかけたい」と話していました。

婦防クが火災予防を呼びかけ

「春季火災予防運動」は3月1日から31日まで展開され、その一環として中田町内を婦人防火クラブ（佐藤千賀子会長）と市消防団中田支団（菅原英義支団長）が防火広報をし、火災予防を呼び掛けました。春季火災予防運動は、毎年火災が発生しやすいこの時季に婦人防火クラブ員が消防車両で町内を巡回。佐藤会長は「多くの人が火災予防に心掛け、慌てずに消火活動ができるよう訓練に参加してほしい」と話していました。



中田